

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公表番号】特表2010-512673(P2010-512673A)

【公表日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-016

【出願番号】特願2009-529264(P2009-529264)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

H 04 N 5/222 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 1 0 Z

H 04 N 5/222 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月21日(2010.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パフォーマンスを記録及び送信する方法であつて、

(a) (i) 前壁、後壁、前壁と後壁の間に延びる側壁、フロア、及び天井を有する内部と、(ii) 前記前壁にマウントされ、少なくとも1つのブース内ライブパフォーマンスを構成するビデオ信号を生成するための高解像度デジタルカメラと、(iii) 前記ブース内ライブパフォーマンスのオーディオレコーディングを構成するオーディオ信号を検出及び生成するためのオーディオシステムと、(iv) 前記ブース内で行った前記ブース内ライブパフォーマンスと共に前記デジタルカメラにより検出される背景光を生成するため、前記後壁の少なくとも一部を覆って延びるクロマキー(chroma key)スクリーンと、(v) 風景背景を表す背景信号を生成するコンピュータシステムと、(vi) 前記ブースから遠隔の場所にあるコンピュータ・サーバに信号を送る送受信装置と、(vii) 前記ビデオ信号、前記オーディオ信号、及び前記背景信号を受信し、前記ビデオ信号、前記オーディオ信号、及び前記背景信号を組み込んだ前記ブース内ライブパフォーマンスの録音されたパフォーマンスを構成するパフォーマンス信号を生成して、該パフォーマンス信号を前記送受信装置に送信するためのフラッシュエンコーダーとを含むスタジオブースを提供する段階と、

(b) 前記ブースから遠隔にあるコンピュータ・サーバを提供する段階と、

(c) 前記ブース内ライブパフォーマンスを実施する段階と、

(d) 前記フラッシュエンコーダーを用いて前記ブース内パフォーマンスのパフォーマンス信号を生成して、前記パフォーマンス信号を前記送受信装置に送信する段階と、

(e) 前記送受信装置を用いて前記パフォーマンス信号を前記コンピュータ・サーバに送信して該コンピュータサーバ内に格納する段階と、
を含む方法。